



SIOS

SIOS Report
Vol.20

2016年12月期上半期
2016年1月1日 ▶ 2016年6月30日

株主・投資家の皆様へ



皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、2016年12月期上半期(2016年1月1日～2016年6月30日)の「SIOS Report Vol.20」を皆様にお届けし、当上半期の業績のご報告とともに、今後の見通し等につきましてご説明申し上げます。

代表取締役社長 喜多 伸夫

連結業績ハイライト

売上高

2016年12月期 上半期

6,238百万円

2015年12月期 上半期

4,392百万円

営業利益

2016年12月期 上半期

330百万円

2015年12月期 上半期

△55百万円

親会社株主に帰属する 四半期純利益

2016年12月期 上半期

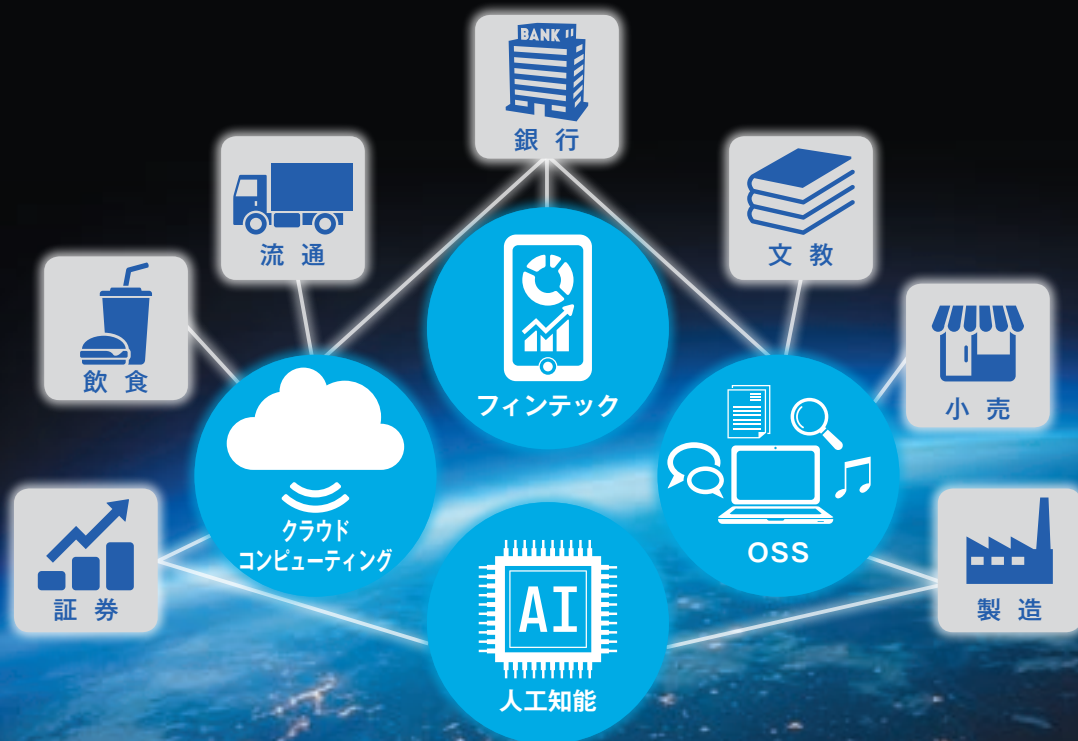
88百万円

2015年12月期 上半期

△59百万円

Our Business

サイオステクノロジーは、Linuxに代表されるオープンソースソフトウェア(OSS)*の開発と利用を軸に、自社開発ソフトウェア製品の販売とサービスの提供を行っています。直近では、人工知能、フィンテック*、クラウドコンピューティング*の技術領域に注力し、次世代を支える新製品とサービスの提供を開始しています。



これからも革新的なソフトウェア技術を追求し、世界のIT産業に影響力のある存在、「インフルエンサー」となって価値を創造し、社会の発展に貢献してまいります。

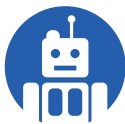
*OSS…ソフトウェアの設計図にあるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布可能なソフトウェア。
フィンテック…ファイナンス(金融)とテクノロジー(技術)の融合による新たなテクノロジーのこと。
クラウドコンピューティング…コンピュータ処理をインターネット経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。

中期損益計画の達成に向け、生まれ変わるサイオス！



売上高100億円をベースに 次のステージへアクセル全開！

2016年12月期通期計画は、売上高を115億円（前回発表は105億円）へ上方修正しました。今後もグループ各社の高度なIT技術・専門性を共有・活用することにより、高い成長を目指します。



フィンテック、 人工知能技術で業界をリード！

当社グループは、新たにグループ会社になった株式会社キーポート・ソリューションズ、Profit Cube株式会社を通じて、フィンテック領域へのチャレンジをしています。また、SIOS iQ等の新製品・サービスを通じて人工知能技術を活用してまいります。



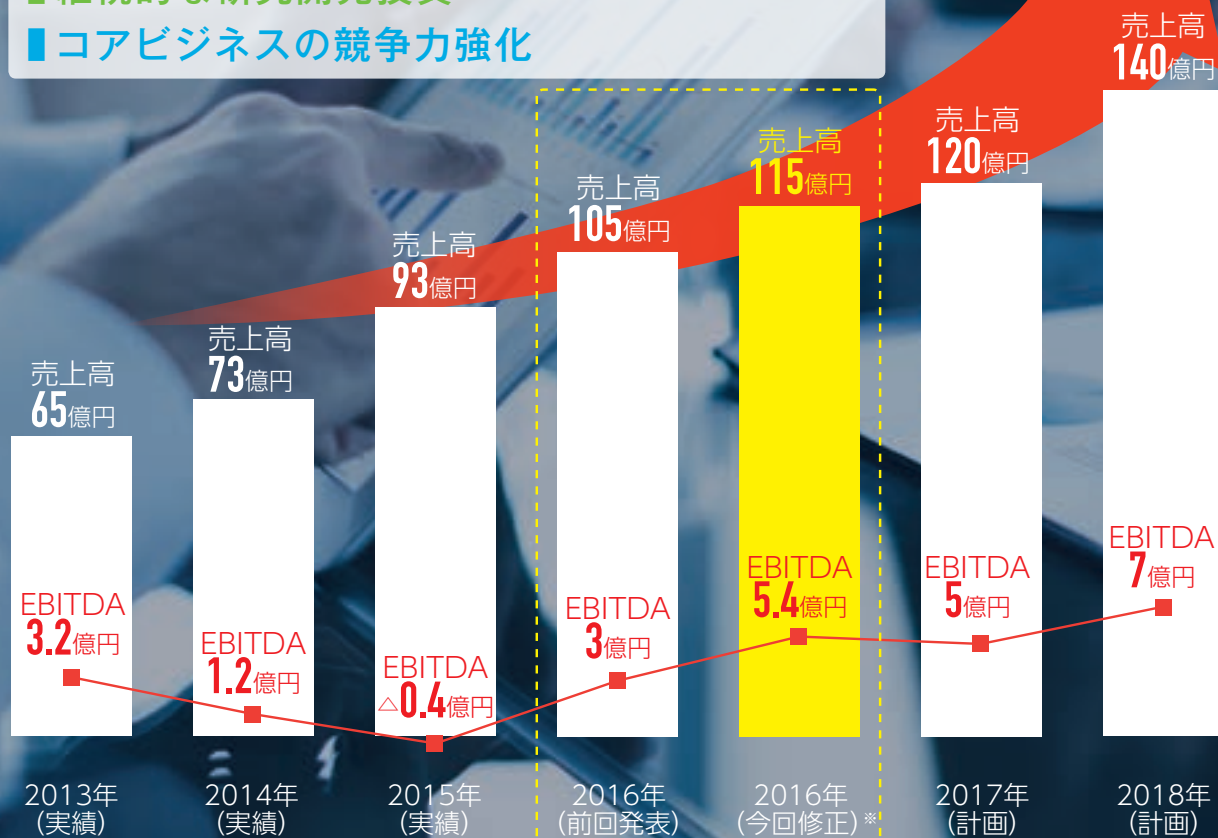
OSS、LifeKeeper、MFP向けソフトウェア 製品による盤石な収益基盤！

当社グループは、コアビジネスにおける研究開発投資、マーケティング力・営業力の強化を推進し、競争優位性を一層高め、更なる収益基盤の確立に努めます。

今回修正で2017年計画値に対し、
EBITDAは1年前倒しで達成予定！

中期基本方針

- フィンテックを含む新たな領域での新規事業創出
- 継続的な研究開発投資
- コアビジネスの競争力強化



※2016年7月29日公表

フィンテックを含む新たな領域での新規事業創出

2015年、金融機関向けに製品・サービスの提供等を行う株式会社キーポート・ソリューションズ、Profit Cube株式会社を子会社化。今後大きな成長が期待されるフィンテック領域に参入。



2016年3月 金融機関向け収益管理システムの新技术で特許を取得

- 法人・個人顧客の収益性を多様な属性を切り口として分析し、**予算策定と実績管理を行う機能**で特許を取得
- 2016年6月新たに2件の特許を分割出願

2016年4月 金融機関向け自動ローン審査システムを開発、新技术の特許を出願

- 申込者との過去の取引履歴を活用して**自動で信用判定を行う機能**に関する特許を出願
- 金融機関が保有するデータを活用し、収益に結び付けることができる画期的なシステム

継続的な研究開発投資 & コアビジネスの競争力強化

当社グループは、中期基本方針に基づき中長期的な成長を実現するため、研究開発投資、コアビジネスの競争力強化を引き続き推進します。

2016年4月
新製品「QuickスキャンV4.1」、e-文書対応でペーパーレス化に貢献

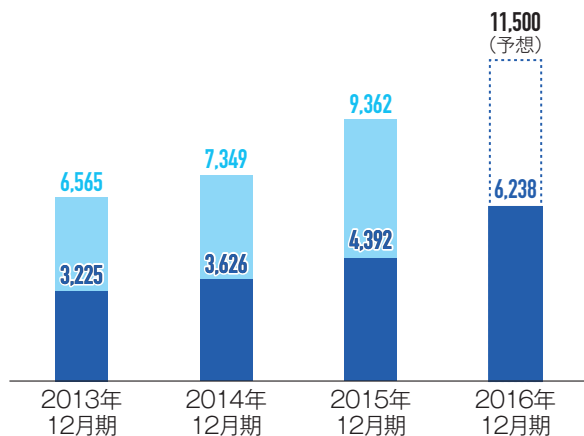


- 従来、紙での保存が求められていた国税関係書類を、電子データでの保存が認められるようになった「e-文書法」に対応
- e-文書対応によるペーパーレス化で業務効率の向上や管理・保管コストの削減に貢献
- 「いつ存在していた情報か、改ざんされていない真正な情報か」を証明するタイムスタンプ機能追加

2016年12月期上半期 業績の推移

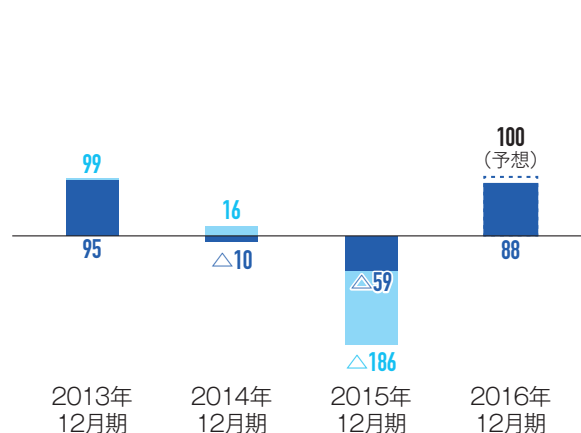
売上高(百万円)

■ 上半期 ■ 通期



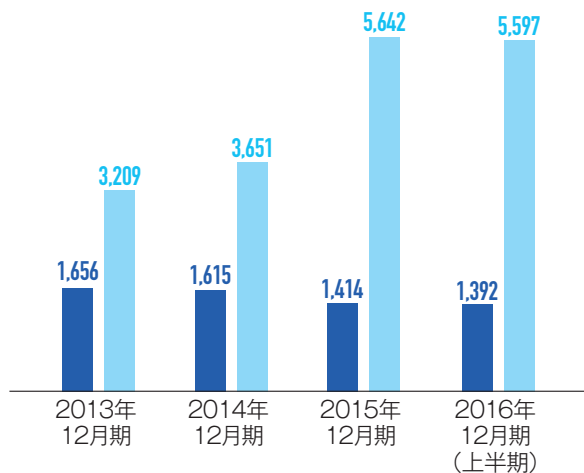
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)

■ 上半期 ■ 通期



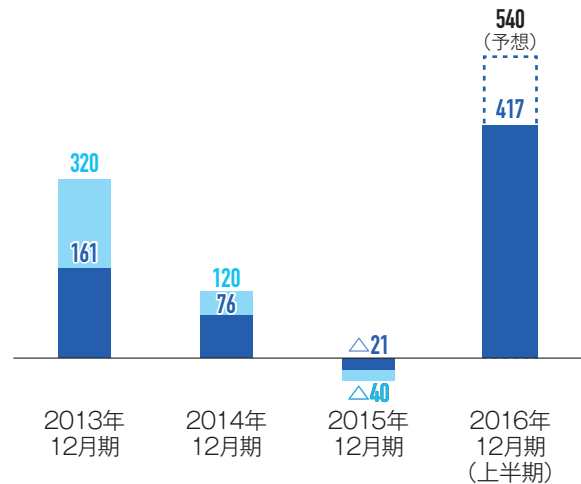
純資産/総資産(百万円)

■ 純資産 ■ 総資産



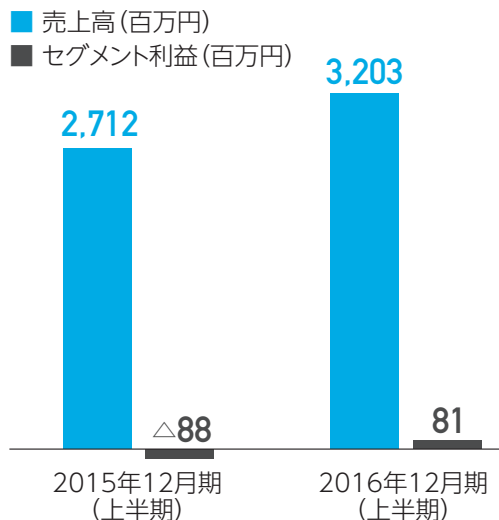
EBITDA(百万円)

■ 上半期 ■ 通期



セグメント別の業績

オープンシステム基盤事業



売上高

3,203百万円 (前年同期比 18.1%増 ▲)

国内

- 当社主力製品の「LifeKeeper」は順調な増収
- Red Hat, Inc.関連商品の販売は順調な増収
- OSS サポートサービスやOSS関連商品が好調な増収

海外

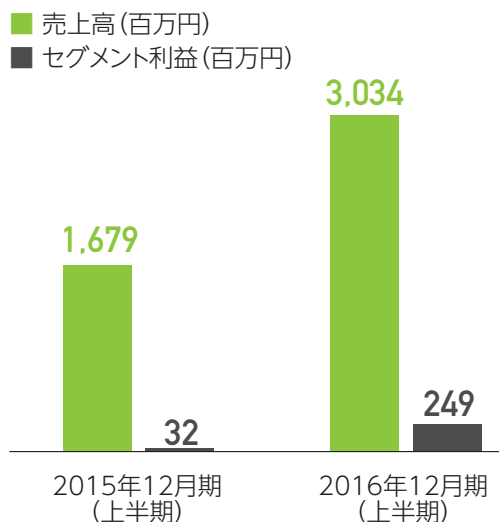
- 米州、欧州、アジア・オセアニア地域が順調な増収

セグメント利益

81百万円 (前年同期は損失88百万円 ▲)

- 当機械学習技術を用いたIT運用分析ソフトウェア「SIOS iQ」の研究開発を継続
- 既存事業が順調に推移し、黒字化

アプリケーション事業



売上高

3,034百万円 (前年同期比 80.7%増 ▲)

- 株式会社キーポート・ソリューションズ、Profit Cube株式会社(以下、KPS、PCI)の子会社化により大幅な増収
- MFP向けソフトウェア製品が順調な増収

セグメント利益

249百万円 (前年同期比 658.7%増 ▲)

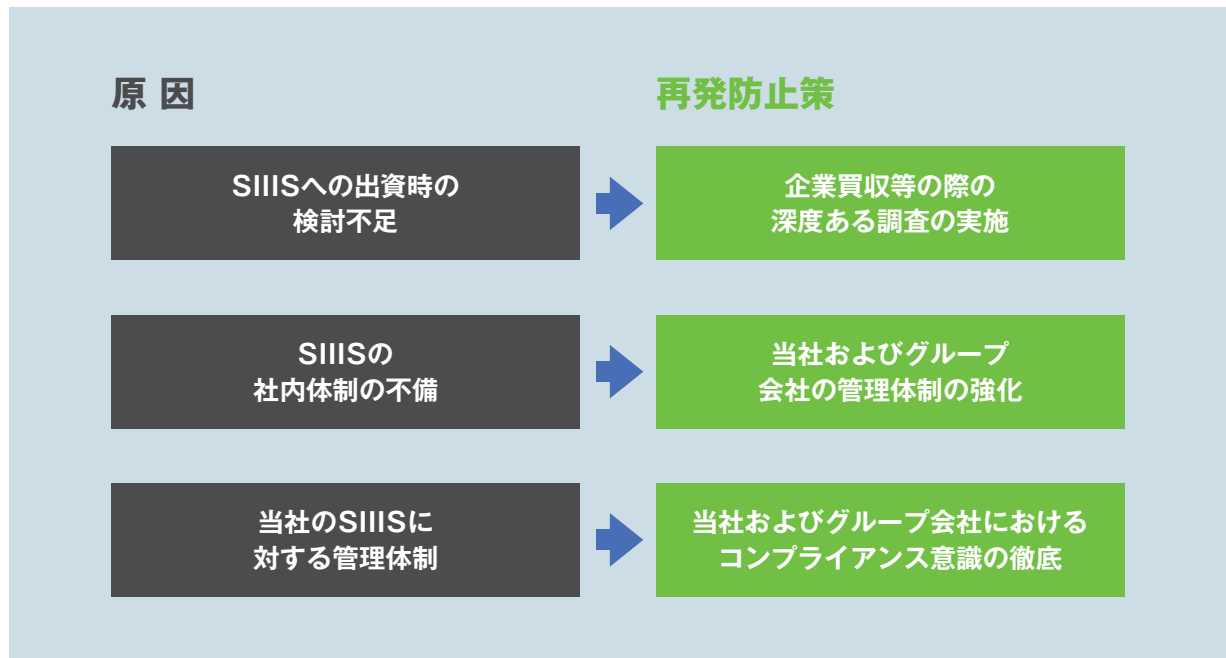
- KPS、PCIの子会社化により、人件費および地代家賃等が増加
- 売上高の伸長による売上総利益の増加がこれらの費用を吸収

当社連結子会社の不適切な会計処理等に関する再発防止策

当社の連結子会社である株式会社関心空間(旧商号 株式会社SIIS。以下、SIIS)において、2011年10月から2014年3月までの間、次世代エネルギー技術実証事業費補助金の対象事業に係る取引に関し、不適切な会計処理が行われていたことが判明しました。

このため、当社は、SIISが受領した本件補助金および加算金の合計約125,661千円について、過年度に公表した連結財務諸表等の決算訂正を行いました。また、当第2四半期連結累計期間におきまして、外部法律事務所および専門調査会社による調査費用、決算訂正にかかる監査費用等の過年度決算訂正関連費用139,212千円を特別損失として計上しました。

今後、当社は、以下の再発防止策を実行することにより、当社およびグループ会社のコンプライアンスを強化し、信頼の回復に努めてまいりますので、何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



会社概要 / 株式状況

会社概要 (2016年6月30日現在)

会社名 サイオステクノロジー株式会社
(英語表記: SIOS Technology, Inc.)

設立 1997年5月23日

資本金 1,481百万円

役員	代表取締役社長	喜多伸夫
	取締役	大塚厚志
	取締役	森田昇
	社外取締役	福田敬
	社外取締役	藤枝純教
	常勤監査役	平松祐樹
	社外監査役	古畑克巳
	社外監査役	長谷川紘之

子会社 SIOS Technology Corp.
(California, USA)
(2016年8月22日現在)

株式会社グルージェント
(東京都港区)

赛欧思(北京)科技有限公司
(北京市、中国)

株式会社関心空間
(東京都港区)

Glabio, Inc.
(California, USA)

株式会社キーポート・ソリューションズ
(東京都港区)

Profit Cube株式会社
(東京都品川区)

株式の状況 (2016年6月30日現在)

発行可能株式総数 15,000,000株

発行済株式総数 8,874,400株*

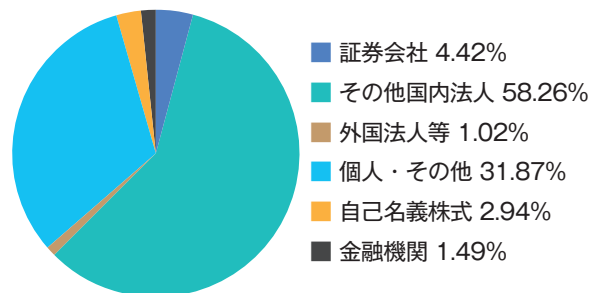
株主数 3,411名

※自己株式260,841株を含む

大株主の状況 (2016年6月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
(株)大塚商会	1,593,300	17.95
テンプスタッフ(株)	1,500,000	16.90
喜多エンタープライズ(株)	920,000	10.37
日商エレクトロニクス(株)	746,300	8.41
喜多伸夫	258,800	2.92

所有者別株式分布状況 (2016年6月30日現在)



当社の最新ニュースや事業紹介に加え、IR情報が一目でわかるIRニュースや財務ハイライトなど、個人投資家の皆様に当社を深くご理解いただけるよう、様々なコンテンツを掲載しております。



トップページ



IRページ

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

基準日 毎年12月31日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国支店で行っております。

■住所変更等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

公告の方法 電子公告とします。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場取引所 東証二部

コード番号 3744



サイオステクノロジー株式会社

〒106-0047 東京都港区南麻布2-12-3 サイオビル
 TEL:03-6401-5111 (代表) FAX:03-6401-5112

